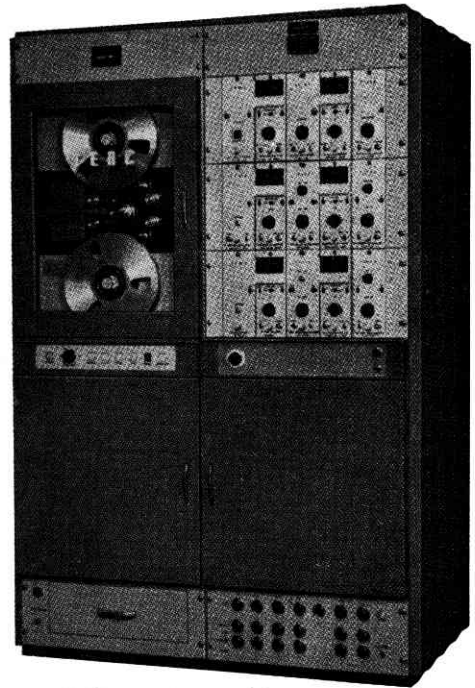


第14図 トランジスタ式頻度計

ものの寿命推定などに大いに役立てられている。最近の記録およびデータ処理用機器のめざましい進歩と、各方面で強力に推進されている部材の低サイクル疲労強度の研究の成果と相まって、さらにいっそうの飛躍が期待できるものとする。(1964年10月10日受理)

文 献

- 1) M. A. Miner; J. App. Mechanics, Vol. 12, No. 3 (1945)
- 2) Report of the Committee 2b-II on Wave Bending, Shear and Tortion-Full Scale Statistics; Proc. of the 2nd Intern. Ship Structures Congress, July 1964, Delft (1964)
- 3) Report of the Committee 6 on Experimental Appa-



第15図 磁気テープ式データレコーダ

ratus; Ditto

- 4) T. Haas, "Loading Statistics as a Basic of Structural and Mechanical Design", IIW Document, XIII-315-63 (1963)
- 5) 多田美朝, "応力頻度計", 材料試験, Vol. 5, No. 37 (1956)
- 6) 非破壊検査協会, 応力頻度計測に関するシンポジウム別刷 (1958)
- 7) Y. Tada, Proc. of Sympo. on the Stress Measurement for Bridge and Structures (1957)
- 8) H. de Leiris, Annual Meeting of Ass. Tech. Maritime (1956)
- 9) N.H. Jasper, Taylor Model Basin Rep. 781 (1953)
- 10) 造船研究協会第63研究部会報告 (1964)
- 11) Sheng-Lun Chuang, Taylor Model Basin Rep. 1960 (1962)

正 誤 表 (第 16 卷 第 11 号)

ページ	綫	行	種 別	正	誤
7 2	右	下 8	本 文	……入力パルス……	……入力カパルス……
7 4	左	5	"	…測定と比較すると……	……測定と比較と……
8 2	"	2	"	Ba(NO <sub>3</sub> ) <sub>2</sub>	B(NO <sub>3</sub> ) <sub>2</sub>

次 号 予 告 (2月号)

研 究 解 説

磁場が強いときの物体のまわりの電導性流体の流れ……………成 瀬 文 雄  
 菊川の「応力分布の測定において標点距離が有限なることによる誤差の補正方法」の一拡張…大 井 光 四 郎  
 明治の建築と近代化の問題……………村 松 真 次 郎  
 マテリアルズハンドリングとその自動化……………山 下 忠

研 究 速 報

無機イオンの酢酸セルロース電気泳動……………高 井 信 治 学 部  
 ……妹 尾 武 郎

生 研 ニ ュ ー ス